

No. 23

福和 伸夫 (ふくわ のぶお)

プロフィール	<p>名古屋大学名誉教授・特任教授。あいち・なごや強靱化共創センター長。中部大学、愛知工業大学、藤田医科大学、兵庫県立大学の客員教授。地震調査研究推進本部政策委員長、中央防災会議南海トラフ巨大地震対策検討WG主査、国土強靱化推進会議委員、国土審議会委員、愛知県防災対策有識者懇談会長など、府省や自治体の各種委員を歴任。専門は建築耐震工学、地震工学、地域防災。防災功労者内閣総理大臣表彰、文部科学大臣表彰科学技術賞、日本建築学会論文賞、同教育賞、同著作賞などを受賞。主な著書に「次の震災について本当のことを話してみよう」「必ず来る震災で日本を終わらせないために」(時事通信社)</p>
授業主旨	<p>人類の歴史は様々な災禍との戦いでした。今も、感染症や風水害などに苦しんでいます。そして近い将来、私たちは南海トラフ巨大地震に必ず出会うことでしょう。先人たちが様々な災禍をどのようにして乗り越えてきたのかを知り、身近な危険を学ぶことで、自分と家族、友人を守るためになすべき大切なことを、一緒に考えます。</p>
実績 (2019年度～)	<p>【出前授業】 2023年度 12月 「過去の災禍に学ぶ大規模災害への備え」 2021年度 3月 「南海トラフ巨大地震～環境と歴史」 2020年度 3月 「パンデミック後のアジアと世界を読み解く」(Zoom利用)</p>